

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3180215号
(U3180215)

(45) 発行日 平成24年12月6日 (2012. 12. 6)

(24) 登録日 平成24年11月14日 (2012. 11. 14)

(51) Int.Cl.
B 6 5 D 88/22 (2006.01)

F I
B 6 5 D 88/22 A

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号	実願2012-5888 (U2012-5888)	(73) 実用新案権者	512250935
(22) 出願日	平成24年9月27日 (2012. 9. 27)		一般財団法人環境技術実践機構
			大阪府大阪市中央区安土町 3-2-2
		(74) 代理人	100114616
			弁理士 眞下 晋一
		(72) 考案者	福田 裕一
			大阪府大阪市中央区安土町 3-2-2 一
			般財団法人環境技術実践機構内

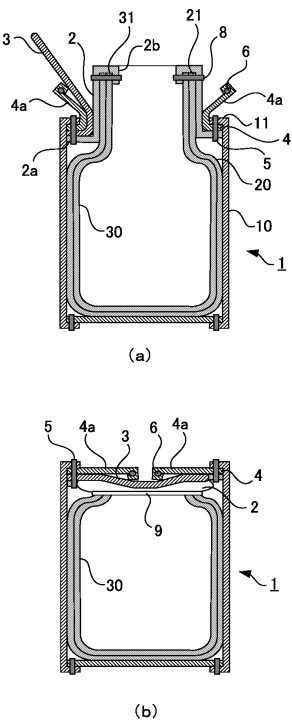
(54) 【考案の名称】 フレキシブルコンテナ

(57) 【要約】

【課題】 収容作業を容易にしつつ、水漏れを確実に防止することができるフレキシブルコンテナを提供する。

【解決手段】 外袋 1 0 と、外袋 1 0 に収容される遮水性シート材からなる遮水袋 2 0 と、遮水袋 2 0 を外袋 1 0 内に支持する可撓性シート材からなる環状の支持体 2 とを備え、外袋 1 0 および遮水袋 2 0 は、いずれも上部に開口部を備えており、支持体 2 は、外縁部 2 a が外袋 1 0 の開口部の周縁部 1 1 に縫着される一方、内縁部 2 b が遮水袋 2 0 の開口部の周縁部 2 1 に縫着されているフレキシブルコンテナ 1。

【選択図】 図 2



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

外袋と、前記外袋に収容される遮水性シート材からなる遮水袋と、前記遮水袋を前記外袋内に支持する可撓性シート材からなる環状の支持体とを備え、

前記外袋および遮水袋は、いずれも上部に開口部を備えており、

支持体は、外縁部が前記外袋の開口部の周縁部に縫着される一方、内縁部が前記遮水袋の開口部の周縁部に縫着されているフレキシブルコンテナ。

【請求項 2】

前記遮水袋内に収容され上部に開口部を有する内袋を更に備え、

前記内袋の開口部の周縁部は、前記遮水袋の開口部の周縁部と共に、前記支持体の内縁部に一体的に縫着されている請求項 1 に記載のフレキシブルコンテナ。

10

【請求項 3】

前記遮水袋は、前記遮水性シート材を折り曲げて胴部および底部に相当する部分を接合することにより、無縫製で製造されている請求項 1 または 2 に記載のフレキシブルコンテナ。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、フレキシブルコンテナに関する。

【背景技術】

20

【0002】

フレキシブルコンテナは、コンパクトに折り畳み可能である一方、使用時には大きな収容量を確保できることから、例えば、除去土壌、間伐材、除草、下水汚泥、防護服等の運搬・保管に好適に用いることができる。フレキシブルコンテナの一例として、特許文献 1 に開示された構成が知られている。図 4 に示すように、特許文献 1 に記載のフレキシブルコンテナ 50 は、胴部 51、投入部 52 および底部 53 を備えている。投入部 52 は、筒状に形成されており、上端に投入口 52a を備え、下部が胴部 51 の上端周縁部 51a に縫合されている。このフレキシブルコンテナ 50 は、投入口 52a からセメント、肥料、飼料等を投入して、投入部 52 の上部を縛り紐 54 で結束することにより、投入口 52a を封止することができる。

30

【先行技術文献】**【特許文献】****【0003】**

【特許文献 1】特開 2009 - 143583 号公報

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0004】**

上記従来のフレキシブルコンテナ 50 は、胴部 51 と投入部 52 との間に縫合部分が生じるため、含水土壌や汚泥等のように水分を含む収容物の場合に、この縫合部分から水漏れが生じ易いという問題があった。

40

【0005】

そこで、本考案は、収容作業を容易にしつつ、水漏れを確実に防止することができるフレキシブルコンテナの提供を目的とする。

【課題を解決するための手段】**【0006】**

本考案の前記目的は、外袋と、前記外袋に収容される遮水性シート材からなる遮水袋と、前記遮水袋を前記外袋内に支持する可撓性シート材からなる環状の支持体とを備え、前記外袋および遮水袋は、いずれも上部に開口部を備えており、支持体は、外縁部が前記外袋の開口部の周縁部に縫着される一方、内縁部が前記遮水袋の開口部の周縁部に縫着されているフレキシブルコンテナにより達成される。

50

【 0 0 0 7 】

このフレキシブルコンテナは、前記遮水袋内に收容され上部に開口部を有する内袋を更に備えることが好ましく、前記内袋の開口部の周縁部は、前記遮水袋の開口部の周縁部と共に、前記支持体の内縁部に一体的に縫着されていることが好ましい。

【 0 0 0 8 】

また、前記遮水袋は、前記遮水性シート材を折り曲げて胴部および底部に相当する部分を接合することにより、無縫製で製造されていることが好ましい。

【 考案の効果 】

【 0 0 0 9 】

本考案によれば、收容作業を容易にしつつ、水漏れを確実に防止することができるフレキシブルコンテナを提供することができる。

10

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 1 0 】

【 図 1 】 本考案の一実施形態に係るフレキシブルコンテナの斜視図である。

【 図 2 】 図 1 に示すフレキシブルコンテナの概略断面図である。

【 図 3 】 図 1 に示すフレキシブルコンテナの收容後の状態を示す平面図である。

【 図 4 】 従来のフレキシブルコンテナの斜視図である。

【 考案を実施するための形態 】

【 0 0 1 1 】

以下、本考案の一実施形態について添付図面を参照しつつ説明する。図 1 は、本考案の一実施形態に係るフレキシブルコンテナの斜視図であり、図 2 は、図 1 に示すフレキシブルコンテナの概略断面図である。図 1 および図 2 に示すように、フレキシブルコンテナ 1 は、外袋 10 と、外袋 10 に收容された遮水袋 20 と、遮水袋 20 に收容された内袋 30 とを備える 3 重構造となっており、遮水袋 20 および内袋 30 は、外袋 10 に取り付けられた支持体 2 により支持されている。尚、図 2 においては、構成の理解を容易にするため、各構成要素の厚み等を実際よりも誇張して記載している。

20

【 0 0 1 2 】

外袋 10 は、有底で起立状態で略円筒状となるように形成されており、上部に開口部を有している。開口部の周縁部 11 には、支持体 2、内蓋 3 および外蓋 4 が、重ね合わされた状態で P E T 系等からなる縫合系 5 により縫着されている。支持体 2 は、可撓性のシート材により環状に形成されており、外縁部 2a が周縁部 11 に沿って取り付けられている。内蓋 3 は、矩形状のシート材から構成され、長手方向の一端部が周縁部 11 に取り付けられている。外蓋 4 は、シート材から構成され、切込みによって分割された複数の蓋片 4a を備えており、外袋 10 の開口部全体を覆うように周縁部 11 に沿って取り付けられている。各蓋片 4a の先端部には、環状の紐体 6 が挿入されており、スライダ 7 の操作により紐体 6 を引き絞った状態を固定することができる。外袋 10 の外周面には、外袋 10 を吊り下げ可能なベルト 12 が縫着されている。

30

【 0 0 1 3 】

内蓋 3、外蓋 4、外袋 10 およびベルト 12 は、例えばポリプロピレン等からなる幅広の糸を織り込んで形成することができ、全体として可撓性を持たせることで折り畳み可能にして、搬送や保管を容易にすることができる。外袋 10 およびベルト 12 には UV 安定剤が含有されており、耐候性の向上が図られている。外袋 10 には、收容物を記録するタグ（図示せず）を取り付けることができる。

40

【 0 0 1 4 】

遮水袋 20 は、ポリエチレンやポリ塩化ビニル等からなる柔軟な遮水性のシート材から構成されており、上部に開口部を有する有底の袋体である。遮水袋 20 は、縫い目からの水漏れが生じないように無縫製で製造されることが好ましく、例えば、矩形状の遮水性シート材を折り曲げて胴部および底部に相当する部分を熱溶着等により接合して形成することができる。

【 0 0 1 5 】

50

内袋 30 は、ポリエチレン等の柔軟なシート材からなり、上部に開口部を有する有底筒状の袋体から構成されている。内袋 30 は、例えば、2 枚のシート材を重ね織りによって織り上げることにより 2 層構造とすることができ、遮水性の向上を図ることができる。内袋 30 は、内面が収容物に直接接することから、小枝やガレキ等による損傷を抑制するために伸縮性加工が施されていることが好ましい。

【0016】

支持体 2 は、内袋 30 と同様の材質から形成することができ、図 2 (a) に示すように、内縁部 2b が、遮水袋 20 および内袋 30 の各開口部の周縁部 22, 32 に縫合系 8 によって縫着されている。縫合系 8 も、縫合系 5 と同様に、紫外線等に対する耐候性を有する PET 系を好ましく使用することができる。

10

【0017】

上記の構成を備えるフレキシブルコンテナ 1 は、図 2 (a) に示すように、遮水袋 20 および内袋 30 を起立させて収容物を内袋 30 に収容し、遮水袋 20 および内袋 30 の上部を支持体 2 と共に丸め込んで、図 2 (b) に示すように結束バンド 9 できつく縛った後、遮水袋 20 および内袋 30 の上方を内蓋 3 および外蓋 4 の蓋片 4a で覆い、図 3 に平面図で示すように、紐体 6 を引き絞って各蓋片 4a を近接させることにより、収容物の保管や搬送が可能な状態にすることができる。

【0018】

本実施形態のフレキシブルコンテナ 1 によれば、外袋 10 と遮水袋 20 との間に支持体 2 を介在させて、遮水袋 20 の開口部の周縁部 21 に支持体 2 の内縁部 2b を縫着することにより、遮水袋 20 の収容量を確保しつつ、遮水袋 20 を外袋 10 内に支持することができる。したがって、収容作業性を良好にすることができると共に、従来のフレキシブルコンテナのような縫合部からの水漏れが生じるおそれがなく、収容物を確実に保持することができる。遮水袋 20 は、無縫製で製造されることが好ましく、これによって、水漏れをより確実に防止することができる。

20

【0019】

また、遮水袋 20 に内袋 30 を収容し、内袋 30 の開口部の周縁部 31 を、遮水袋 20 の開口部の周縁部 21 と共に、支持体 2 の内縁部 2b に一体的に縫着することにより、支持体 2 および内袋 30 によって遮水袋 20 の全体を覆うことができるので、収容物等による遮水袋 20 の損傷を確実に防止することができる。

30

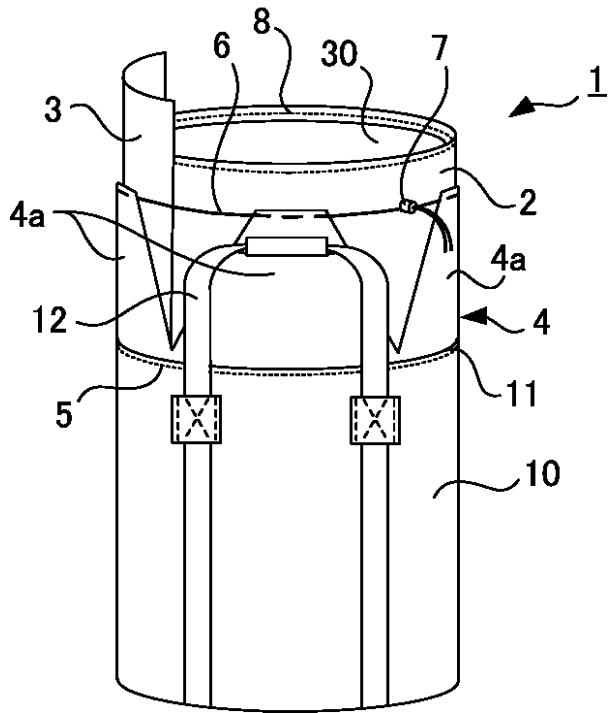
【符号の説明】

【0020】

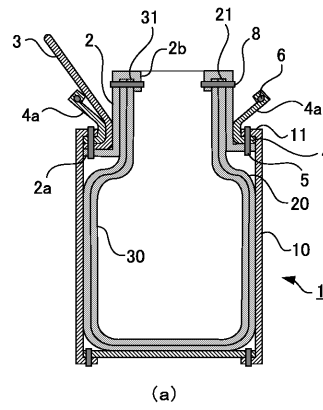
- 1 フレキシブルコンテナ
- 2 支持体
- 2a 外縁部
- 2b 内縁部
- 5, 8 縫合系
- 10 外袋
- 11 開口部の周縁部
- 20 遮水袋
- 21 開口部の周縁部
- 30 内袋
- 31 開口部の周縁部

40

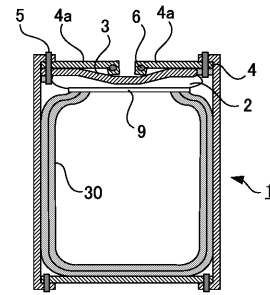
【図 1】



【図 2】

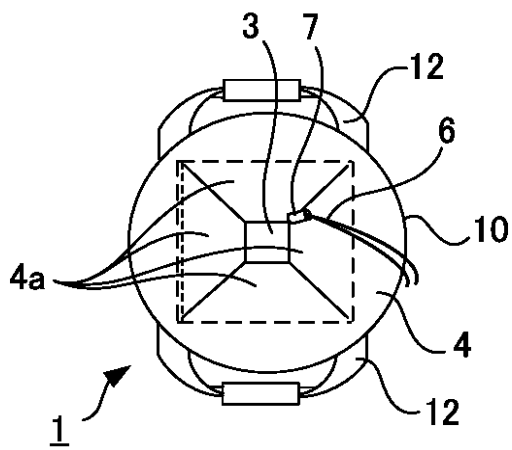


(a)



(b)

【図 3】



【図 4】

